

令和3年度 飯塚市児童センター等運営委員会議事録

1. 日 時 令和3年11月17日（水）午後2時00分～午後2時50分
2. 場 所 飯塚市役所 6F 教育委員会会議室
3. 出席者（委 員）飯塚市民生委員児童委員協議会 理事 小池 千津子
 一般公募委員 金 英子
 一般公募委員 下見 頼子
 一般公募委員 松尾 幸子
 子育てオアシス 代表 藤江 文雄
 NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会 理事長 久保 満男
 飯塚市自治会連合会 理事 岩崎 鉄雄
 児童クラブ保護者代表 児童クラブ保護者会 瑞慶山 有希
 飯塚市小中学校 PTA 連合会 副会長 時吉 直祐
 飯塚市子ども会指導者連絡協議会 会長 氷室 敏幸
 （事務局）二石部長
 学校教育課 山下課長、田代課長補佐、井上指導主事、吉原

4. 議 題

- (1) 運営委員会会長及び副会長の選任について
 (2) 児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について
 (3) 児童クラブを中心とした放課後児童の支援ビジョンについて
 (4) 放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
 (5) その他

5. 議事録

議事1 運営委員会会長及び副会長の選任について	
事務局	会長、副会長の選任について、どなたか発言はありますか。
委 員	事務局に一任します。
事務局	あらかじめ相談をしていましたので、会長に藤江文雄委員を、副会長に小池千津子委員を推薦したいと考えております。
委 員	(委員が拍手をする)
会 長	今日は、小春日和で、皆さん方もここに足を運びやすかったと思うのですが、子どもたちが育つ環境が、このような穏やかな気候の中で、そして、いろんな色に包まれたこの自然環境の中で、のびのびと育っていく、そして、先に希望が持て、伸びていこうとする子どもたちを和やかな雰囲気の中で育てていただけたらと、事務局の方にもお願いをします。 子どもは国の宝です。そういうことに携わっておられる行政の方々、また、そういうことに気を配っておられ、時間を割いていただいている多くの方々に心より感謝申し

	<p>上げます。本日はよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議題（２）「児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>議事２ 児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について</p>	
事務局	<p>議案第２号、児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料１は児童センター等の配置図で、19か所の児童センター、児童館及び児童クラブが飯塚市のどの位置に設置されているかを表しています。 ・資料２は、各児童センター、児童館、児童クラブの写真と活動内容についての紹介です。 ・資料３-1は各児童館・児童センターの事業の前年度事業実績、3-2は令和３年度事業計画を説明しています。新型コロナウイルス感染症対策から、三世代ふれあい交流会は見合わせているものの、保護者の方や児童クラブ毎に運営されているサポート委員会（地域の民生児童委員や自治会、学校、保護者会の集まり）の方々に対象を縮小し、日ごろの集団活動を披露するミニ発表会を実施しています。 ・資料４-1は各児童館・センター等における外部ボランティアを招いての前年度事業実績、4-2は令和３年度の事業計画で、生涯学習課の所管するボランティアネットワーク事業にご登録いただいている有償ボランティアの方々にご協力いただき、手話、卓球、工作など各種教室を実施しています。 ・資料５では、児童センター（児童館）の設置状況と前年度の利用状況の実績であり、児童センターの利用者は、そのほとんどが、在学中の児童と、児童クラブの経験がある中高生となっており、昨年度の利用人数 3,021 人のうち、小学生が 1,706 人（56.4%）、中学生が 59 人（2%）、高校生が 3 人（0.1%）、幼児が 106 人（3.5%）、保護者や児童クラブサポート委員の方々が 1,147 人（38%）となっています。児童クラブにつきましては、2,000 人近くの児童が入所登録をしているため、延人数で年間約 375,000 人の利用実績となっており、児童センターの利用とあわせ、およそ 99%以上が児童クラブの利用で占めています。 ・資料６は、市内の各児童センター（児童館）及び児童クラブの実施に要する事業費について、前年度の前算額、決算額及び令和３年度の前算額を記載しています。児童センター運営事業費については、児童館・センターの運営に関する事業費を計上しており、児童センター（館）の運営に必要な水道光熱費が増額の要因となっています。児童クラブ運営事業費については、主に児童クラブ運営委託料の増額が要因となっています。 ・資料７は、小学校児童数と児童クラブ入所児童数の比率を示しています。全児童クラブを比較すると、小学１年生の比率が多く、学年が上がるにつれ入所児童数が減っていく傾向であり、過去５年間の入所率の推移では、年々増加の傾向にあります。なお、資料５と合わせ、児童数や利用人数の表記におきまして、男女別の統計をとれるよう委員よりご意見をいただいております、改善できる部分は統計を始めており、来年度以降の資料は、順次できるものから改善していきたいと考えています。 ・資料８は、令和３年度の入所定員、令和３年４月１日現在の入所児童数及び支援員数についての状況を示しています。支援員については、委託先の青少年健全育成会連絡協議会事務局により雇用の確保と支援員の資質向上に努めていただいております。

	<p>す。保護者等から、児童に関するご相談、また、児童クラブでの支援に関するご意見をいただく場合は、基本的には連絡協議会事務局から該当施設への助言、指導をお願いしていますが、市も学校経験者の指導主事を中心に、事務局と連携を取りながら、各児童クラブのサポートにあたっています。児童がひとりひとり個性を持っていることを理解し、必要な指導を行う中で、個別に対応が必要な児童には状況に応じた対応をすることで、児童が健やかに成長できるよう、より改善していきたいと考えています。</p>
会 長	ご意見、ご質問等はありませんか。
委 員	(意見・質問無し)
議事 3 児童クラブを中心とした放課後児童の支援ビジョンについて	
事務局	<p>平成 29 年度から、児童クラブの業務が教育委員会に移管され、各児童クラブで学習プログラムを導入した取り組みが行われていました。当時は、明確なビジョンを策定できずに取り組みが先行して行われていましたので、令和元年度「児童クラブを中心とした放課後児童の支援のあり方検討会」を立ち上げ、児童クラブと、生涯学習課が所管しております、放課後子ども教室を含めた放課後で児童に身につけてほしい力などの明確なビジョンを策定しました。</p> <p>生活や遊びなどの様々な体験を通じて、学年を超えた仲間と協力しながら自ら進んで行動する、「生きる力」を身に付けた子どもたちを育てることを目標に、コロナ対策を行いながらではございますが、学校や地域と連携し、子どもの放課後を市全体で支える取り組みを行っていききたいと考えています。</p>
藤江会長	ご意見、ご質問等はありませんか。
各委員	(意見・質問等なし)
議事 4 放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について	
事務局	<p>資料では、感染拡大による状況と、学校、児童クラブにおける対応状況と連携についてお示ししています。</p> <p>児童クラブで支援いただいている支援員の先生方のご尽力と、空き教室や担任の先生方等、隣接する各小中学校のご協力、また、マスク着用の徹底やおやつの一時見合わせ等にご理解いただいた保護者の方々等、児童クラブを見守る多くの皆様のご協力により、児童クラブの運営を続けているところです。</p> <p>現在におきましては、感染症対策の徹底を実施しながらではありますが、感染拡大状況を見ながら、児童が元気で健やかになれるよう、外遊びやボランティア講師による卓球などを再開しているところです。合わせまして、支援員の先生方の体調管理にも留意し、体調不良時の抗原検査や PCR 受検などを含めまして、万一、第 6 波が起きた場合でも即対応できるよう整えているところです。</p>
会 長	現場からの声として、戸惑いや要望、意見といったものはありましたか。
事務局	<p>令和 2 年 3 月、コロナの感染拡大を受け、学校が一斉休校になりました際、児童クラブは朝から夜までの時間帯となり、支援員の先生方にとっては、急に勤務体制が変わることとなってしまいました。長時間の勤務となりますため、先生方の体調管理についても、不安と心配がございましたが、理事長の久保理事長をはじめ、連絡協議会事務局の方々のご協力によりまして、支援員の先生方からご理解いただきました。</p> <p>また、児童クラブは、机が一人ひとりにあるものではなく、複数人で座っていますの</p>

	で、食事時間マスクを外した時、感染リスクの影響が非常に大きいという問題がありました。保護者会で話していただき、おやつの一時的な見合わせや、黙食を徹底することが、お子さんにも先生方にも苦勞いただいた部分かと思えます。
小池委員	最初のころは子どもたちも慣れていなかったことで、ずいぶん心配をしました。先生たちもがんばってくださっていましたので、民生委員をしておりますことから、様子を見に行かせていただいております。先生からお話を聞きましたら、「今は学校の先生と協力して活動ができるので、困ったときはすぐに飛んできてくださる。そこがものすごく安心です。」と言われていました。困ったことがあったら、地域でも何かお役に立つことがあればということで、お話をさせていただきました。 やはり一番かわいそうなのは、子どもたちが、途端にみんなと仲良く遊べなくなったし、話や交流もできなくなったことです。 先生たちが本当ががんばられて、勤務を入れ替わりながら活動されていたので、本当に感謝しかありませんでした。
議事 4 その他	
事務局	議題なし
各委員	(意見・質問等なし)
藤江会長	年間を通してお世話いただく中で、どんな情報でもお気づきの点は挙げていただき、子どもたちのために、アイデアなどご意見をいただきましたら、この委員会の意味もより深まって来ると思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。 時代はなかなか難しくなっていますが、中心にいるのは子どもですから、その視点に立ってお互いがんばっていきたいと思います。 本日はどうもありがとうございました。
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 飯塚市児童センター等運営委員会次第 ・飯塚市児童センター等運営委員会委員名簿 ・児童センター等配置図(資料1) ・児童センター等の紹介(資料2) ・令和2年度 児童センター等事業実績(資料3-1) ・令和3年度 児童センター等事業計画(資料3-2) ・令和2年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業報告書(資料4-1) ・令和3年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業計画書(資料4-2) ・児童センター(児童館)設置状況と利用状況(資料5) ・児童センター(児童館)及び児童クラブに係る事業費(資料6) ・令和3年度 小学校児童数と児童クラブ入所児童数の比率(資料7) ・令和3年度 児童クラブ入所者数(令和3年4月1日現在)(資料8) ・児童クラブ活動を柱とした放課後児童の支援ビジョン(資料9) ・放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について(資料10)
公開・非公開の区分	① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)
その他	